

刊夕 日卅月三



定額一ヶ月五拾圓 郵費別  
廣告料五拾圓 行金五拾圓  
日曜 祭日の 翌日 休刊  
発行所 常盤宮日新聞社  
電話 六二〇〇  
平町田町 月見橋駅前

### 追善法要の由來と心得 (九)

眞 繼 雲 山

さて又この廿三年に當る年を折り返して七年先を探るとすれば卅年となります。然るに卅回きといふ法要は、なく廿三回きの次ぎには廿七回きを修します。廿三回きより數へて七年とするには尙二年不足いたします。けれども、これは七の實數に關係なく廿七には「七」といふ名前があるゆゑ、その七を取りあげて廿七回きと致したのが「七の七」であり、最後に廿七回きより數へて七年が卅三年目となります。卅三の數字には「七」の字は含んでおまへせんけれども、七年目といふ實數を取りあげて「七の七」と致し卅三回きを修むことになつてゐるものであります。

【問】成るほど、漸くのことにて年回修法の由來を領解することが出来ました。さて卅三回忌以後は？

【答】卅三回忌の次ぎは五十四回忌、七十回忌、百回忌、百十三回忌、百廿五回忌、百卅三回忌、百五十回忌と修してゆくべきものであります。これは別段、名の七とか敷の七とかいふ一定の基準あつて割り出されたる

【問】百五十回忌以後は如何でありますか。

【答】百五十回忌以後といへども子孫たらんものは固より縁に從ふて追福を修すべきで決して百五十回忌にて足れりといふものではありませぬ、しかし一般在家にあつては遠く湖ぼり隔たるに從ふて疎くなりやすいものでありますから必ずしも年回を待たず朝夕祖先の佛前に追福供養の誠をいたし念々の間にも祖靈の洪恩

を忘るべきではありません。年回としては百五十回忌以後は遠きまたは大遠きと稱し、各宗祖師方ならびに國家は勳功ありし聖賢のため三百年、三百年、三百年、五百年、六百五十年、七百年、八百五十年、千五百年、などそれぞれ、各宗または諸團體において嚴修されてゐるところであります。

門 專

婦 産 科

花 柳 病 科

婦 人 科

井 坂 醫 院

入院隨意

平町田町 電話五五九番

ゼアラの自轉車 代理店

宮田自轉車

平局御用 エビヌヤ自轉車店

宮田自轉車九年度郵便局納の五千二百輛

平南町 電話六六四番

御融通には!

是非御利用を.....

萬事便利な御相談に應じます。

三井質店

平四・電六〇六番

御通學には

魂の這入つた

フタバの自轉車で

責任保證付。總クローム

東京製新車 二十五圓ヨリ

一年保證中古車 十圓前後

フタバ式リヤカー發賣元

フタバ商會

平。新川町。月見橋際

見習生二名採用

かまぼこ 製造

お惣菜用 さつま揚

吉原揚

平町一丁目

電話一四一

不 孫 寅

貸切の命は!!!

御用命は!!!

獅子吼(四四九ノ勢)

眞先ニ.....(マツサキ)

三九二タクシー!!!

三四年型デラックスセダンが

入荷致しました

貸切の御用命の節は

電話六八五番へ.....

是非御試乗の程を願ひます

三井タクシー

電話六八五番

耳鼻咽喉科専門

鈴木醫院

醫學士 鈴木 正男

平町田町(電話五八番)

藤田女學校前

自炊のお需めに應ず

入院の便あり

# 古川改修工事費に

## 平町が七万圓奮發

### 昨日一件書類を縣に提出

### 計劃達成を促進

平町に於ける洪水の禍根を一掃せんが爲めに夏井川改修工事の附帯延長工事として古川の大改修工事を實現すべきは屢報の如く平町民舉つて翹望する處下あるが平町は此の計畫達成の

一日も速やかからん事を望んで縣に對し改修工事費の一部にと金七萬圓を寄附すべき事を決し昨日右に關する一件書類を縣に提出したが寄附の納期は縣の指示に従ふ事となつた

# 皇軍に對し

## 感謝の表象

### 國華日の當日

### 一齊に國旗掲揚

### 記念造花を發賣

平町では陸軍當局よりの指令により皇軍に對する國民的感謝を表象させるため來る四月五日の國華日には町内各戸に國旗を掲揚せしむることになつたが尙ほ平町各種婦人團體女學校では記念の造花を作製し一ヶ五錢で頒布し各人の胸間に佩用させ感謝の意を表はせると共に賣上金を陸軍糧食部に寄附すると

# 産業組合

## 事業其他協議

産業組合石城郡部會去

小松(勿來、錦、川部)暨(植田、山田、渡邊、長瀬)

草野、神谷、大浦(吉田(四倉、大野)酒井(高久飯野、夏井)青沼(平))

### 昨年度に於て

昨年度に於ける平町の兒童就學獎勵恩賜金の交付額は平第一校が百二十三圓二十一錢、第二校が八十五圓十一錢、第三校が六十九圓七

# 實社會へ送り出す

## 就職少年へ心得書

### 平職業紹介所が配附

平職業紹介所では從來同所で斡施就職させた少年少女が永續性がなく就職後成績が思はしくない者が尠くな

# 磐城高女合格者格

- (受験番號順一組)豊田實穂 坂本シケ 林部フヨ 今井トミ子 高澤ユキ 吉田トシ子 千葉ミツ 新妻ヨシ 織田芳枝 南波ユキ 子 松井静江 新妻文子 田子トク 箱崎球榮 中村茂 大越セツ子 中村切子 大森愛子 瑤一子 大越ワカ 本多サダ 吉田キヨ子 大谷登志子 森山文子 横田はぎ 鯨岡富子 久松郁子 菅波美江子 猪狩アイ子 草野花子 根本クラヨ 小野マサ子 遠藤静枝 大須賀ユキ子 芳賀英子 猪狩
- 静子 里見壽 金田勝子 草野貞子 佐藤みゆき 田口トシ 丹野千鶴 加美山みや 正木千鶴子 草野哲子 佐藤妙子 伊藤恭子 村田ユキ子 鈴木延枝 小野光子
- (二組)佐々木繁子 砂田廣 鈴木サチ子 柴田喜美子 小野明子 横田キエ 佐藤伸 圓谷廉子 齊藤織子 久保年 菅野文子 鈴木知代子 渡邊岩子 新妻マツ子 加澤トク 箱崎徹 鈴木安子 若松イヨ 鯨岡アイ 中津アヤ 安藤千枝
- 鷗沼アイ子 今田操 佐藤トヨ子 坂本アエ 藤沼里子 武子トシ 桐谷つね 渡邊民江 廣川ミサヲ 三輪貞子 藤井幸江 小野百合子 石山小夜子 安龍トミ 荒木友子 吉田愛子 鈴木幸子 渡邊清子 猪狩喜美子 江尻峯子 桑原ハツノ 阿部リヨ 樋口すみ 宮下眞佐 四家綱子 逸見ヒサ松本秀子 橋谷田壽子 小野不二
- (三組)薄葉ヒサ子 水野サト 駒木根敬子 松崎悦馬目モト子 高階翠 片岡菊榮 山部美枝子 飯島政子 鈴木リツ 吉田みゑ 山田幸子 江尻クニ子 高
- 木綾子 鎌田キミ 宗像ミヤ 鈴木よし 牧野きよ 草野マサヨ 北村翠子 中村光 長谷川信子 折笠紀子 鈴木榮子 大塚みさ子 渡邊正子 菊池清子 遠藤チイ 大泉經子 小宅ヒナ木田タカ 佐藤スミ 長橋イト子 星八重子 國府出シゲ 石井増子 小野淺子 江川照子 大平ヤス子 大高真子 鷗沼トシ子 丹フサ 西山チエコ 下山田アイ 鈴木チヨ 中野弘子 鈴木トヨコ 田村とみ子 大門則子 佐藤不二子
- (四組)柳生榮子 青木俊子 瀧布美子 木田蓮子 長瀬増子 春川チカ子 丹下

# 平署員の大異動

- 新任 大谷 巡查 任 巡查部長 命 柳倉署勤務 命 浪江署勤務 命 白河署勤務 命 矢吹署勤務
- 命 小名濱駐在所主任 命 圓通巡查部長 命 笠原巡查部長 命 縣警察部特高課勤務
- 命 菊地 警部補 命 圓通巡查部長 命 笠原巡查部長 命 縣警察部特高課勤務
- 命 柳倉署勤務 命 浪江署勤務 命 白河署勤務 命 矢吹署勤務
- 命 伊藤 巡查 命 泉 巡查 命 彼田 巡查 命 矢吹署勤務

職後の心得十一ヶ條をパンフレットにして贈り注意を喚起することになつた

- 一、人は働くことに依つて良くなる
- 二、修養は辛いものと覺悟もよ
- 三、責任をもつて正直に眞面目に働け
- 四、口で云ふより實行が第一
- 五、何時も笑顔で氣持よく働け
- 六、先づ健康
- 七、常に修養に心掛けよ
- 八、研究と改善に心掛けよ
- 九、誘惑に負けけるな
- 十、貯金に心掛けよ
- 十一、通信と相談に心掛けよ

尚後任に左の如く決定した

- 小名濱駐在 渡邊警部補
- 坂下巡查部長 菊地嘉芳
- 矢吹署巡查 遠藤 定雄
- 富岡巡查 長谷川定雄
- 命 平署勤務(各通)

# 山車で練る

## 縣社祭禮に

松ヶ岡公園の花見と、ともに平町民が待つ鎮守子鐵倉神社の祭典は約二旬の後に切迫してきたので平町各區では祭典に光彩を添へるべく祭典の漸く近づいた昨今を以て、奉祝準備に餘念ないが、三日目では山車を建造して宵祭り十七日の當夜全町を練り歩き賑さを一層盛大ならしむることになつたが同町として實に十九年ぶりのことである

- 美江子 和山多美子 藤内葉末 瀧致子 山崎春子 山内君子 丹伊勢子 増澤チヨ 田村フミ 柴田ちゑ 若松キヨエ 井上和子 鈴木千代子 白井ツル子 押田慶子 吉田康子 太田品子 山崎綾子 小林ナヲ 馬場トシ 西山繁子 五十石剛子 江尻ミヤ子 片岡久榮 矢野澄枝 清野とし馬目英子 關田君子 下鳥キヨ子 木田アイ 花澤富美子 中島多美 菅波ユキ 柚木コウ 大和田智恵子 村上富子 賀澤アキ 高萩秀 比佐ヨネ 高木政子 川又ヨシ 吉田禎子 高田秋子 鈴木登美子

# 亭主の割腹自殺に

## 女房發狂して溺死

### 家人の留守に家出して

#### 履物を残し河中に投身

上小川村大字七小川字牛小川一農鈴木憲二の母いち(一)は八年前より精神に異常を呈してゐたが最近状態を悪くしたため家人を昂進したので家人

#### 監視中の處二十八日

午後五時頃家人の他出した留守を幸ひとして家出したので大騒ぎとなり附近の手を借り捜索したが二十九日午前八時頃自宅より二町隔

てた中川の岸に履物があつたので附近を隈なく捜した結果十町程下流に溺死体となつてゐたのを發見半署の検屍を受けた尚ほいらいの亡夫春吉は八年前精神異常から割腹自殺を遂げ當時産褥中のいちはこのことから精神に激動をうけて發狂したものであると

# ラヂオ利用

## ▽町村長會が

### 普及法協議

% 郡下二九%

#### 夏井火見建設

平町役場では最近に於ける郡下並びに本邦主要地のラヂオ利用状況を調査してゐたが郡下の利用率は左の如く他の主要都市に對比して著しく低率をみせ文明の利器を應用することを知らな

い状態なのでラヂオによる智識向上を計るべく来る四月中旬開催される町村長會の席上仙臺放送局より技術者を招き種々協議して郡下各地にラヂオ利用の効果を宣傳することになつた

東京一八% 大阪一九% 名古屋一% 仙臺四九%

普門寺の總代 平町北目町普門寺では此程總代人を選擧した結果左記諸氏當選した

# 東京方面へ

## 少年求職は絶望

### 至る所既に豫約済み

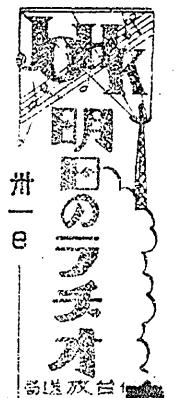
平職業紹介所では少年求職者の斡旋中であるが今春卒業した児童のうち東京方面に就職を希望する左記二十九名の就職開拓のため同所員神長倉書記が過般上東京市少年少女職業紹介所その他各方面を歴訪し運動をしたが職工二名の就職を契約したが、他は既に他と豫約済みといふ餘り芳ばしくない成績を歸すとの止むなき状況であつたと好問一〇 内郷一七 湯本八 四倉三 植出一

# 平商各組

## 受持教諭

平商業學校では来る新學期よりの各學年受持教諭を此程左の如く決定した

(一年)甲組新出、乙組室原(二年)甲組宮澤、乙組菅原(三年)甲組下山田、乙組木村(四年)甲組中村



天 氣 報 今晩も明日も北西の風天氣良し

### 今晩の部

後六〇〇 子供の時間 童謡と唱歌 山形市内小學校児童 後六三〇 三都對局新進 勝拔將棋入手合 後七〇〇 講演 外務省

# 警中合格

## 發表は今夕

定員一百五十名に對し受験者三百五十名を數へた警中の合格者發表は本廿日午後五時頃になる豫定であると

# 函館義捐金募集に

## 「音楽と劇の夕」を開催

鎌田青年團では昨夜幹事會を開いて函館市への義捐金募集に就て協議したが同町は他區に比し戸數も少なく且つ貧困の家庭がかなり多いので區内からのみ募集するのは時節柄好ましくないといふので同町青年が音楽團を組織し來月十四日第三校に於て「音楽と劇の

# 片倉の義捐金

## 平町

磐城片倉製糸工場では函館市の見舞金を従業員一同から募集することになつたが大体金額は二十圓に達する

# 平職業紹介所報告

求人を求める方  
△料理人 尋卒 給料面談  
△出前持 十八才—二十三才位 月十圓位  
△商店雜役 二十才前後 尋卒 月十圓位  
△商店雜役 十九才 高卒  
△事務員 二十才 磐女卒  
△機械工 二十九才 高卒

後九三〇 時報  
氣象通報  
明日の部  
前九〇〇 料理師立「生鮭」のテリ焼  
前〇三〇 家庭講座「編物」(終)山陽敏子  
前一〇〇 第十一回選抜中等學校野球會實況(甲子園球場より中継)  
後一〇〇 講演「出世の淨瑠璃」寶井馬琴  
後六〇〇 (子供の時間)和洋合奏 二「花吹雪」

「青空」三「兵隊ごっこ」若葉和洋合奏團 指揮宮野顯  
後六二五 講演「日本の醫學」第九回日本醫學會々頭醫學博士入澤達也  
浪花節の夕  
後八〇〇 「鶴權兵衛」浪花亭愛華  
後八二七 「野狐三次」春日亭清鶴  
後八四五 「孤城落月」富十月子

# 裁判所たより

△双葉郡大野村大字ト野上字廣谷七〇自動車販賣業脇本領造(三)は去月同字地内佐藤タカイ方雇人前田フヨ(三)を柏子木で頭部を毆打し全治二週間の裂創を負はし本日平區裁判所に於いて罰金廿圓

一册の代金で御希望通りな五册の雜誌が自由に讀める川崎文庫 電六三〇番(申込次第規則書送呈)

# 小店員數名募集

年齢十五才ヨリ優遇 御希望の方ハ午後一時ヨリ本人御來談下さい 平町田町一七 レストランサロン 電話三五二番

# 看護婦急派

の求めに應じます 平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

# 銘劍秘又録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演  
山本英春 畫

第百九十三回

徳川家に崇る村正

五太夫召捕の計

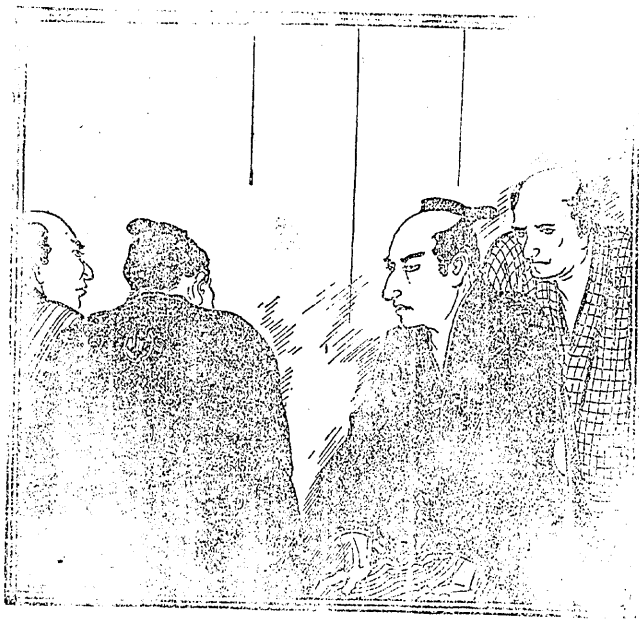
北町奉行の井戸對馬守から中根源太郎の處へ急の相談があるに依つて本日役宅まで御入來を願ふと言ふ使ひが参りました、何れ何かの手懸りがあつたに違ひないと思つたから喜んで北町奉行の役宅へ参りました。

暫く待つ間に對馬守お立出になつて

對「これは中根氏、早速の御入來添けない、本日御足勞を願つたのは外の事ではない、かねて御依頼の水上五太夫の件お考への通り調べれば調べる程不審の態もござるが何分にも證據と言ふものがない、それ故今日まで延引致して居つたが芝櫻田本郷町の下駄屋惣兵衛の女房をかどわかし殺害致したことは確實故この一事を以て召捕りその上は次第に依つては拷問にかけてなりとも白状させるより外道はないと思ふ」

今日御足勞を願ひお打合せを致す考へござる」

呼びなさい」  
次の間に控へてゐた家來から鈴木重太郎へ沙汰をし、それから鈴木は早速それへ入つて來り下座へ平伏して重「御奉行様何か御用でございますか」



で主に盡力を致して居る同心鈴木重太郎と申す者をこれへ招いて御紹介を致すからお會ひ下さい」

手前中根源太郎只今お奉行より承知致したが此度は一方ならぬ盡力をして下さい、よう拙者より厚くお禮を申上げる」

井戸對馬守が引取つて對「いやそれは手前からお話を致そう、この鈴木といふ男は却々孝行者ぢや、と申すは中國浪人鈴木重左衛門と言へる者の伴であるが先年父が大恩寺前に於て武家姿の物盗のために殺害され、所持の金子を奪はれた仇討を致したくも先方の素性が分らんのでこれは役人になり多くの賊を調べる内には親の仇にも出會はうといふ望みで貯へも相當あつたところから同心の株を求め専心そのことに盡して参つたが不幸にして未だその親の仇に出逢はん、左様な次第で武家方の探索となると殊に盡力を致す、といふ譯でござる」

對「大きに左様であるな」  
重「就いては斯様致しては如何でございませう」  
と何か鈴木重太郎が自分の案を申述べました。

重「只今お奉行よりの話し通りでございます故にな様よりのお依頼であらうとも又只の犯人捜査に致せ皆これを役目と思はず已の親の敵を尋ねる心得にて致して居ります」

對「さてこれより水上召捕りに就いて相談を致すが、鈴木、其方何か名案はないか」  
重「手前の考へにはあの道場に三人の師範代が居ります、これが水上に力を添へる時は、大いに召捕り難儀を致し、五太夫を取逃がすやうなことがないとも限りませんが、それ故これは別に召捕る方が宜しいと存じます」

## 旭屋一六銀行

御利用を盛んに御取扱中

四百二十五番の電話次第  
御便宜直様御取進び致します

## 阿部石炭商店

電話三七番

石炭  
コークス  
炭  
平驛前

## 吸入用酸素純度99%

モノサシ  
体温計  
寒暖計

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

### 関内藥局

電話四〇番

## 喜多流謡曲と仕舞の

お稽古をお勧め致します

喜多流 謡曲 仕舞 白土會

平田町六九  
電話一二七番

詳細は本會へ御問合せ下さい。

## 木村外科醫院

花柳病科 専門

平町六丁目 橋際  
電話三九〇

自炊入院の便あり

## 市原醫院

平町 田町  
電話一四番